

## 第11回野菜需給協議会の概要

独立行政法人農畜産業振興機構

平成22年11月11日に独立行政法人農畜産業振興機構（東京都港区）において第11回野菜需給協議会が開催されました。その概要は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 夏秋野菜の価格高騰への対応について

- ・ 事務局より、22年産夏秋野菜の需給・価格の実績とその要因を説明した。
- ・ 野菜需給協議会幹事会を開催し、消費者団体等関係者から意見を聴取した内容を農水省の野菜出荷安定対策本部に説明した旨報告した。

#### 2. 22年産秋冬野菜の見通しについて

- ・ 株式会社ウェザーマップより、全般的に暖冬傾向だが、12月は冬型の気圧配置が強まりやすく、一気に冷え込む可能性があるとの報告があった。
- ・ 22年産秋冬野菜について、事務局より11月4日に開催した野菜需給・価格情報委員会でとりまとめられた需給・価格の見通しが報告された。（別紙1参照）

冬キャベツは、生育は総じて順調。価格は前年を下まわって推移する見込み。

たまねぎは、平年以上にロスが多く出荷量は少なかった前年をさらに下回り、価格は高値が継続する見込み。

秋冬だいこんは、生育は12月以降平年並みで、価格は低めで推移する見込み。

冬にんじんは、猛暑の影響を受け生育が遅れており、12月中旬までは前年を上回り徳島産が出回る3月までは高値で推移する見込み。

秋冬はくさいは、作付面積は微減だが生育は概ね順調、国産キムチ需要など加工需要が強いことから価格は堅調に推移する見込み。

冬レタスは、生育は概ね順調。低温の影響を受けやすいため12月の寒波により価格が上昇する可能性もあり。

#### 3. 野菜の消費拡大に向けた協議会の取組みについて

- ・ 協議会傘下団体よりこの秋冬の野菜消費拡大の取組みについて説明があった。
- ・ 事務局より、協議会HPの新コンテンツ及び野菜セミナーについての説明があった。（別紙2参照）

#### 4. 議事のなかで出された主な意見

- ・ 今後も今年の夏のような気象変動が予測されるので、それを前提とした様々な対策が必要ではないか。
- ・ 野菜が高いから購入量を減らすということのないよう、高い野菜の「機能性」を代替する別の野菜を紹介するなどの情報発信をお願いしたい。

(参考) 配布資料等については、おってホームページで公表いたします。

(問い合わせ先)

担当者：野菜需給部 需給推進課

幸田、桃野、吉田

電話番号：03-3583-9478



品目 (出荷期間)	これまでの足取り	今後の見通し	見通しの説明	
	卸売数量及び価格 (東京都中央卸売市場 8/2~11/8)	第8回野菜需給・価格情報委員会 (22.11.4)での需給・価格の見通し	供給 (生産・出荷の現況及び今後の天候見通し)	需要
冬キャベツ (11~3月)		<p>1 供給見通し 作付面積は全体的に前年をやや上回る。生育状況は干ばつの影響で序盤の定植が遅れたものの、生育は総じて順調。</p> <p>出荷量は、千葉、神奈川が当面平年を下回るが、12月には回復する見込み。</p> <p>2 需要・価格見通し 価格は、前年を下回って推移するが、愛知が本格化する2、3月以降一段の低下の可能性もある。</p>	<p>(主な産地：千葉、神奈川、愛知)</p> <p>1 作付面積は、千葉は前年並、神奈川は前年をやや上回り、愛知は前年をかなり上回る。生育状況は干ばつの影響で序盤の定植が遅れたものの、生育は総じて順調。出荷開始は、千葉、神奈川は10月上旬、愛知は10月11日。群馬(高原)がほぼ前年並みの11月上旬でほぼ終了し、千葉、神奈川、愛知を中心とする産地へ切り替わる。 (資料3-4、1~2ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は高め、日照時間は平年並み、降水量は平年並みの見込み。 (資料3-2、4~6ページ)</p>	<p>キャベツの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>
たまねぎ (11~4月)		<p>1 供給見通し 作付面積は前年並みだが、産地(北海道)の天候異変により平年以上のロスが多く、歩留まりが低下し、出荷量は少なかった前年をさらに下回る見込み。</p> <p>2 需要・価格の見通し 米国を中心に輸入(生鮮もの)が増える可能性があるが、価格に与える影響は軽微とみられる。価格は品薄を反映し、高値が継続する見込み。</p>	<p>(主な産地：北海道)</p> <p>1 作付面積は、主産地の北海道は前年並み。生育は北海道における曇天・高温・多雨・多湿により根痛み、早期倒伏が発生し、圃場・選果場での腐敗等が多く、歩留まりが低下。小玉傾向。 (資料3-4、3~4ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は平年より高め、日照時間は平年並み、降水量は平年並みの見込み。 (資料3-2、18ページ)</p>	<p>たまねぎの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>
秋冬だいこん (10~3月)		<p>1 供給見通し 作付面積は神奈川、千葉で微減。生育は概ね順調になりつつあり、12月以降は平年並み。 期間トータルでの出荷量は、前年をやや上回り、特に2、3月は千葉を中心に前年を大きく上回る見込み。</p> <p>2 需要・価格見通し 価格は昨年並みのキロ60~80円程度で安く推移し、千葉から前年を上回る出荷量が見込まれる2、3月にはさらに前年を下回る水準となる可能性もある。</p>	<p>(主な産地：千葉、神奈川、徳島)</p> <p>1 作付面積は、神奈川、千葉で微減、徳島は微増。生育は9月以降気温、降水量が安定し、概ね順調。出荷開始は、千葉は10月上旬、神奈川、徳島は11月上旬。北海道は10月でほぼ終了し、千葉、神奈川、徳島を中心とする産地へ切り替わる。 (資料3-4、5~6ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は平年より高め、日照時間は平年並み、降水量は平年並みか、やや少ない見込み。 (資料3-2、26~28ページ)</p>	<p>だいこんの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>

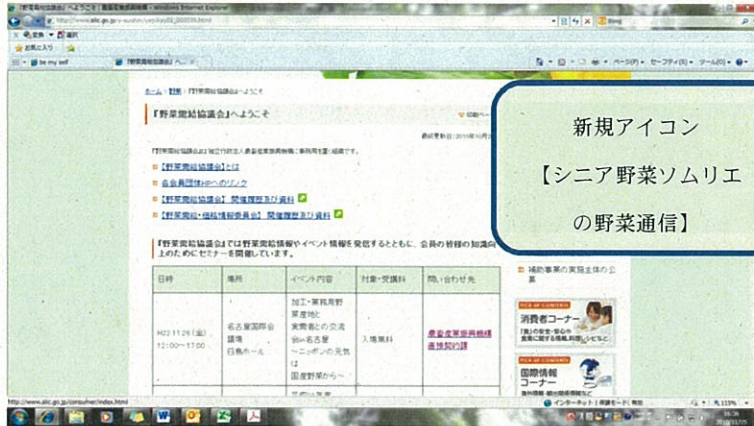


品目 (出荷期間)	これまでの足取り	今後の見通し	見通しの説明	
	卸売数量及び価格 (東京都中央卸売市場 8/2~11/8)	第8回野菜需給・価格情報委員会 (22.11.4)での需給・価格の見通し	供給 (生産・出荷の現況及び今後の天候見通し)	需要
冬にんじん (11~3月)	<p>入荷量 (円/kg) 卸売価格 (t) 平均価格 指標価格</p>	<p>1 供給見通し 作付面積は前年を下まわる。生育については、猛暑の影響を受け、千葉では7日~10日、愛知では1週間以上遅れている。玉太りが悪く、12月初旬は、M・S中心、下旬にはL・2L級も出てくる見込み。ただし、年明け以降も出荷量は前年より1、2割少ない見込み。</p> <p>2 需要・価格見通し 価格は、12月中旬までは前年を1割程度上回って推移し、上位等級が出回る12月下旬には更なる上げもありうる。年明けに、生育が遅れた分が集中し、若干の下げの可能性はあるものの、徳島産が出荷される3月までは高値で推移する見込み。</p>	<p>(主な産地：千葉、愛知、長崎)</p> <p>1 作付面積は、千葉、長崎は微減、愛知はかなり下まわる。生育については、猛暑の影響を受け、千葉では7日~10日、愛知では1週間以上遅れている。出荷開始は、千葉は10月下旬、愛知は11月中旬、長崎は11月上旬の見込み。北海道の切り上がりが早く、11月以降急減して、千葉、愛知、長崎を中心とする産地へ切り替わる。(資料3-4、7~8ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は前年並みか高め、日照時間は前年並みかやや少ない、降水量は前年並みの見込み。(資料3-2、36ページ)</p>	<p>にんじんの購入数量と小売価格の対前年同月比 (%)</p> <p>10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月</p> <p>◆購入数量 ■購入金額 ▲小売価格</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>
秋冬はくさい (10~3月)	<p>入荷量 (円/kg) 卸売価格 (t) 平均価格 指標価格</p>	<p>1 供給見通し 作付面積は愛知が1割減少しており主要3県では微減。生育状況は干ばつの影響で序盤の定植遅れがあったものの現在概ね順調。</p> <p>2 需要・価格見通し 価格は、国産キムチ需要など加工需要が強く堅調に推移。12月には、寒波による鍋需要の増加も見込まれることから一段上げの可能性もありうる。</p>	<p>(主な産地：茨城、愛知、兵庫)</p> <p>1 作付面積は、茨城・兵庫は、前年並、愛知は1割減。生育状況は、干ばつの影響で序盤の定植遅れがあったものの現在概ね順調。出荷開始は、茨城は10月中旬、愛知は11月上旬、兵庫は11下旬の見込み。長野の切り上がりが早く、11月でほぼ終了となり、茨城、愛知、兵庫を中心とする産地へ切り替わる。(資料3-4、9~10ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は前年並みか高め、日照時間は前年並みかやや多め、降水量は前年並みかやや多めの見込み。(資料3-2、44~46ページ)</p>	<p>はくさいの購入数量と小売価格の対前年同月比 (%)</p> <p>10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月</p> <p>◆購入数量 ■購入金額 ▲小売価格</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>
冬レタス (11~3月)	<p>入荷量 (円/kg) 卸売価格 (t) 平均価格 指標価格</p>	<p>1 供給見通し 作付面積は主要4県でほぼ前年並み。生育状況は序盤の定植が遅れたものの、現状は総じて順調。</p> <p>2 需要・価格見通し 価格は、前年並みで推移するとみられるが、レタスは低温の影響を受けやすいため12月に寒波が来れば供給も減って価格が上昇することもありうる。</p>	<p>(主な産地：茨城、静岡、兵庫、香川)</p> <p>1 作付面積は、茨城・香川で前年並、静岡は微増、兵庫は微減。作付状況は、序盤の定植が遅れたものの、現状は総じて順調。出荷時期は、茨城、香川は10月上旬、静岡、兵庫は10月中旬。長野等が11月上旬でほぼ終了となり、茨城、静岡、兵庫、香川を中心とする産地へ切り替わる。(資料3-4、11~12ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温はやや高め、日照時間は前年並み、降水量は前年並みかやや多い見込み。(資料3-2、54~57ページ)</p>	<p>レタスの購入数量と小売価格の対前年同月比 (%)</p> <p>10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月</p> <p>◆購入数量 ■購入金額 ▲小売価格</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>



## 野菜需給協議会サイト 新コンテンツ企画（案）

平成 22 年 11 月 11 日  
野菜需給部需給推進課



## ■タイトル

シニア野菜ソムリエの野菜通信（仮）

## ■訴求ターゲット

主として野菜の摂取量の少ない若年層や独身者、単身者をターゲットに野菜への親近感を醸成する。

## ■内容

## ①旬の野菜をテーマに以下の産地情報の提供

現地取材調査を中心に生産者の苦労や収穫の状況など野菜を身近に感じてもらう情報の提供。

## ②価格動向の解説

「野菜需給・価格レポート」のわかりやすい解説により旬の野菜を安く入手できる時期の情報提供。

## ③野菜の消費促進のための情報提供

健康に役立つ野菜の栄養や単身者でも手軽に作れ、旬の野菜をたくさん摂れる調理方法や埋もれつつある伝統料理の紹介。

## ④HP ユーザーからの質問と回答

シニア野菜ソムリエが回答するだけでなく、産地への要望などは現場へつないでいく。

## ■更新頻度

原則として、月に1回

## ■二次利用の奨励

原則として、リンクフリー、コンテンツのコピーフリーとして利用者が作成する資料等への活用を促進する。